



THE HIROSAKI UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN

弘前大学附属図書館報 No.48 2018.11

目次	
巻頭言	2
特集 第4回 POP コンテスト	3
本との出会いを楽しむ<21回>	7
図書館に関する話題<21回>	8
デジタルアーカイブの紹介(東遊雑記)	9
Library News	10
本学教員等著作寄贈図書・資料一覧	11



私の本棚

監事 山内 浩



本棚 1 (実家)

本を読み出したのは小学校高学年からです。河出書房新社刊、日本文学全集、現代の文学(何れも昭和38年、39年発行)を片っ端から読んでいました。読書に挑戦していたのです。今考えても小学生には難しすぎました。分からないということがよく分かったのです。

本棚 2 (中学、高校、大学時代)

昔から本は持ち続けるタイプなので今でも殆ど残っています。中学の頃は日本のメジャーな作家の作品を読んでました。中学3年の冬に三島由紀夫の死を知ったときは衝撃を受けましたね。寒い日であった気がします。

高校、大学に進むにつれて文学全般にのめり込んでいきます。大方の青年がそうであるように人生とは何か煩悶していましたね。高校の時には純文学では福永武彦、詩では中原中也に傾倒していました。当時は詩人になりたいと思っていたのです。

大学時代は、外国文学を中心にあらゆるジャンルの本をアパートにこもって読んでいました。自分なりの本を読むスタイルができたのはこの頃ですね。

本棚 3 (社会人になって)

文学から少し距離ができて仕事に必要な本(税務、財務、法務、業界研究等々)が占めるようになりました。若い時には仕事で徹夜も多く、今でも当時を思い出し、日曜日の大河ドラマが始まる時間になると嫌な気分が襲われます。心が疲れた時には宗教とか禅の本を読みました(松野宗純は殆どあります)。

後はサラリーマンがよく読んでいる司馬遼太郎と藤沢周平ですね。前者では「世に棲む日日」、後者では「風の果て」が好きです。司馬遼太郎は世の中を上から見て、藤沢周平は下から見ていられると言われたりしますが私はどちらも好きです。

経営者の書いた本も多くあります。樋口廣太郎、

稲盛和夫等々。今ですとカルビーの社長だった松本晃さん。考え方が明解です。

本棚 4 (現在)

最近の読み方は5、6冊同時並行、深夜の1、2時過ぎから朝方まで1日2時間は読みます。相変わらず気の向くままですが、特に老いに関する本が多くなりました。勢古浩爾なんか好きです。人は誰でも齢をとる。従容として受け入れなさいということですね。

本棚 5 (大学図書館)

私の本棚ではありませんが時間を見つけてよく行きます(仕事に必要な本も結構あるのです)。1階はレイアウトを変更し新しく入庫した本が目につくように工夫されています。膨大な数の書籍類が収蔵されていて正に財産ですね。2階雑誌コーナーでは書評を一通り見て買うかどうか参考にしています。

本棚 6 (これから)

この先本棚の中身がどの様になっていくのか分かりませんが、人は何故本を読むのでしょうか。

一般的に人間が成長(いい意味で)していくためには1.ものすごい人に出会うか2.強烈な体験をするか(職を失う、収監される、大病を患う等々)3.すばらしい本に巡り合うかの3つだとされています。

運命の遭遇も、人が多く経験しないことも願って出来ることはありません。一番の捷徑は本を読むことです。今自分が悩んでいることは先人もきっと悩んだことで、必ず誰かが何処かに書いているはずですよ。

「ひとは生きて来たようにしか死なない」

木に古いと書いて「かれる」と読みます。人は古くなって「善く生きた」と言われたいものです。

(やまうち ひろし)

第4回POPコンテスト

弘前大学附属図書館では、今年度も図書館の利用促進及び読書推進を目的として POP コンテストを開催いたしました。第4回を数える今回は計 25 点の応募があり、作品は全て該当図書と共に館内特設コーナーに展示されました。そして、図書館利用者（一般利用者を含む）からのシール投票、および Web ページからの投票によって、全 6 作品の入賞が決定いたしました。

表彰式は 11 月 14 日（水）に本館アクティブ・ラーニング・エリアにて行われ、それぞれの受賞者に郡館長から表彰状が手渡されました。

今回は、本のテーマに合わせてドットイラストや文字をデザインに組み込み『人工知能の作り方：「おもしろい」ゲーム AI はいかにして動くのか』（三宅陽一郎著）の魅力のアピールした理工学部 1 年・込山ひなたさんが大賞を受賞し、かわいらしい手書きイラストとキャッチコピーを貼り付けて立体感を出し『ぼくのニセモノをつくるには』（ヨシタケシンスケ作）を紹介した教育学部 4 年・田川香純さんが優秀賞を受賞しました。その他 3 名の方が、それぞれ工夫をこらした POP で佳作を受賞しました。また、今回もサンライズ産業株式会社様にご協賛いただき、特別賞としてサンライズ産業(株)賞を設けました。サンライズ産業(株)賞は、多読コーナーの『Pele』を紹介した理工学部 3 年・篠原爽吾さんが受賞し、サンライズ産業(株)の工藤代表取締役から表彰状が手渡されました。得票数が多かった作品の中から「地域」をテーマにした作品を選ぶ予定でしたが、今回は「地域」をテーマとした作品の中に受賞候補が無かったため、サンライズ産業(株)寄贈図書の購入対象の一つである「グローバルな人間形成に役立つ資料」を取り扱った作品として、この作品が選ばれました。

表彰式では、受賞者からの喜びの声や作成した POP について工夫した点、そして「この本を読んで欲しい」という熱い思いが語られました。POP と該当図書はしばらく展示する予定ですので、気になる本がありましたらぜひ借りてみてください。

（投票結果についてはこちら→http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/pop/pop4_kekka.html）

（情報サービスグループ 丸山 ひかり）



郡館長（前列右）サンライズ産業(株)工藤代表取締役（前列左）
工藤取締役管理部長（後列左）及び、受賞者



表彰式

大賞

理工学部1年 込山 ひなたさん

『人工知能の作り方：「おもしろい」ゲームAIはいかにして動くのか』

この度は、第4回 POP コンテストの大賞という素敵な賞をいただいたこと、大変感謝しております。ありがとうございました。

図書館で「人工知能の作り方」に出会った時、最初に表紙のイラストに惹きつけられました。手にとって読んでみると、普段私たちがしている行動を言語化することがどれだけ難しいことなのか、ゲームAIの歴史についてなど、AIの専門知識が無い私でも理解し、楽しむことができる一冊でした。普段、理工学部で主に化学を学んでいる私にとって、AIは離れた存在であったかもしれませんがこの本によって新たな見方を得られたと思います。

この本をPOPで紹介するにあたって、直線的なイメージのデザインにすること、文字をデザインに組み込むことを意識して作成しました。機械が持つ直線的なイメージを図形の組み合わせによって表現し、「言語化」というキーワードをデザインするためにたくさんの文字をPOP内に入れました。このPOPを見て、少しでも多くの方に興味を持っていただけたら幸いです。

最後に、私のPOPを見てくださった方々、投票してくださった方々、企画運営をしてくださった附属図書館関係者の方々、協賛のサンライズ産業(株)の方々、本当にありがとうございました。



優秀賞

教育学部4年 田川 香純さん

『ぼくのニセモノをつくるには』

私は幼い頃から絵を描くことが苦手で、イラストを描くということを全く行ってきませんでした。しかし、大学に入学してあるイラストを描き、それを友人に褒められ、その嬉しさがきっかけでもっと絵を描いてみようと思うようになりました。

ちょうどその頃縁のある方から、大人も楽しめる絵本があるぞ！と紹介してくれたのがこのヨシタケシンスケさんの絵本です。絵を描くということにもっと挑戦してみたい、弘大の図書館を訪れる方に絵本で癒されてほしい、その思いから応募することになりました。

応募期間開始から数日後、2階の階段を上がり恐る恐る自分のPOPを目にしてみると、既にたくさんシールが貼ってありました。その時の喜びはきっと今後忘れないと思います。このPOPコンテストを通じて自分の“できること”の幅が広がり、またコンテストを通じて繋がれた人がいます。応募してよかったな、と心の底から思います。そしてここを出発点としてこれからもイラストを描いたり、大切な人に絵本の良さを伝えていきたいです。



サンライズ 産業(株)賞

理工学部3年 篠原 爽吾さん 『Pele』

この度はサンライズ産業(株)賞に選んで頂き、ありがとうございました。

私がこのPOPコンテストに応募したきっかけは、英語の授業の課題として出されたことでした。私は普段から読書をしないため、本を読んで、さらに、POPを作らなければいけないということを苦に感じていました。そこで本を探している時に「Pele」を見つけました。私はサッカーが好きだったため、即決でこの本に決めました。最近では気になることがあれば、すぐインターネットで調べられることもあり、わざわざ本で読むというをしなくなっていました。しかし、本でペレについて読むと感情が動かされることを感じました。インターネットとは違い、しっかりと自分の中に情報が入っているのを実感しながら本を読むことができました。

さて、これをどうPOPにしようかと考えていたときに、ロシアワールドカップを見ていて、「大迫ハンプないうて」の応援フラッグが目につき、これだと思い、POPを作りました。流行に乗っていて、ふざけたようなPOPに見られるかもしれませんが、面白半分でもこの本を取って見ていただければ幸いです。



佳 作

教育学研究科1年 工藤 由紀さん

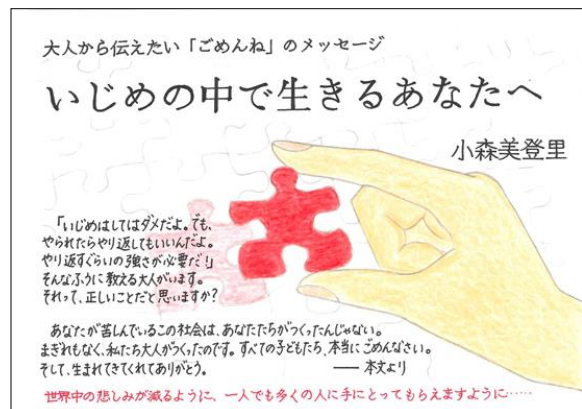
『いじめの中で生きるあなたへ：大人から伝えたい「ごめんね」のメッセージ』

この度の佳作受賞、大変嬉しく思います。まずは、企画運営に携わられた図書館の方々、協賛のサンライズ産業株式会社様、そして投票して下さった皆様に心から御礼申し上げます。

さて、私は現職の中学校教員で、今年の春から教職大学院で勉強させていただいています。学内の気に入りの場所の一つが附属図書館なのですが、そこでこのコンテストのポスターを拝見し、今回大学院での思い出づくりの一つとして書かせていただきました。

この本とは、自身の研究テーマである不登校に関する資料を探している時に出会いました。いじめを苦にして自殺した15歳の一人娘・香澄さんについて、お母さんが書かれた本です。その中でとても印象深かったジグソーパズルのお話をPOPのデザインにしました。

私自身が教師として、そして一人の大人として考えなければならぬことを改めて教えてくれたこの本を、これから先生になろうとしている教育学部の皆さんにはもちろんのこと、多くの皆様に読んでいただき、優しい心がどんどん広がっていくことを願いながら描きました。そんな思いで描いたPOPを選んでいただけて光栄です。この度は本当にありがとうございました。



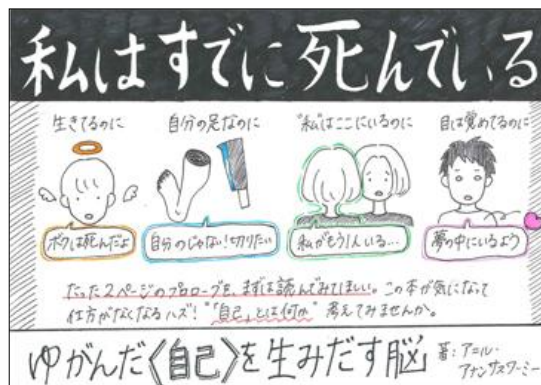
佳作

医学部3年 馬目 華帆さん

『私はすでに死んでいる：ゆがんだ「自己」を生み出す脳』

この度は、「私はすでに死んでいる：ゆがんだ<自己>を生み出す脳」で佳作を頂いたこと、大変嬉しく思います。ありがとうございます。

レポートで必要な本を探しに久々に図書館に入って、なんとなく目に留まり手に取って読んでみた本の、たった2ページのプロローグ。たった2ページの文章が、普段本を全く読まない私にPOPを描くまでの興味を抱かせました。この本は、コタール症候群や身体完全同一性障害、離人症などといった病気について、当事者へのインタビューや、実験、違法手術の取材などを通して神経科学の視点から迫っていくとともに、「私は誰なのか?」「自己とは何なのか?」について語っています。私はこの本を読んで、こんなにも深刻で悩まされ続ける心の病について、自分は知識もなければ今まで理解しようとしなかったことに気づいたと同時に、医療従事者を目指す者以前に人として罪の意識を感じました。POPは、少しでも気になってもらえるよう、書きたい沢山の情報を取捨選択し詰め込んだつもりです。POPを通じてこの本を読み、心の病についてどんなものがあるのか知って、人の心、そして自分の在り方を見つめるきっかけになればうれしいです。



佳作

人文社会科学部1年 秋本 聡美さん

『Beauty and the beast』

私が今回POPコンテストに参加したきっかけは、英語の授業です。Readingの授業で、一人一冊英語で書かれた小説を読み、その本のPOPを書くという宿題でした。英語の成績は悪いですが絵を描くことは得意なので、点を稼ぐチャンスだと思い、丁寧に仕上げました。提出したときは英語の先生にとっても褒められてうれしかったです。その授業の単位も取れました。

絵を見てだれでも「美女と野獣だな」と分かるようなわかりやすさと、野獣の毛の流れやバラなどの細かな部分もこだわりました。私は色を塗る道具を持っていないため、白黒でどうやってインパクトを出そうか悩みました。

「美女と野獣」は幼いころに読んで以降、ストーリーを忘れかけていましたが、授業をきっかけに久々に読み直しました。私がはじめて「美女と野獣」を読んだ幼いころに比べたら、今の私は世の中がいかかに外見の美しさが人の人生に影響を与えるかを知っています。必ずしも善人は幸せになり、悪人には罰が下るというわけではないということも。だからこそ、この物語は美しく、素敵だと思いました。

弘前大学図書館は小説などの種類は少ないです。しかし、英語の小説は書庫にたくさんあります。英語は苦手ですが小説は好きなので、読んでいこうと思います。



本との出会いを楽しむ 第21回

美味しい食べ物の秘密

農学生命科学部准教授 前多隼人



美味しい食べ物屋さん巡りを楽しみにしている人はいませんか？私は学生の頃、部活や研究室の仲間と美味しい中華屋さん、洋食屋さん、スイーツ店巡りをするのが楽しみでした。美味しい料理により雰囲気のお店でご飯を食べると話も弾みます。今回は美味しい食べ物と科学の関係がわかる本を紹介したいと思います。

美味しい料理を作り出す料理人は職人としての技術に加え、科学者でもあることを感じたエピソードがあります。私は食品機能、簡単に説明すると食品に含まれる成分にはどんな役割があり、身体の健康の維持にどのように役立っているかについて研究しています。ある時、ナマコの健康機能についての市民向けの講演をするため、石川県に行きました。講演後に熱心に質問に来てくださった方がおり、その多くが料亭の板前さんや食品加工業者でした。中にはわざわざ京都から来てくださった方もおりました。その質問の内容が実に科学的で専門的な内容であることに驚かされました。ナマコは種類によって加熱の仕方や調理方法を変える必要があり、筋肉繊維の構造について理解した上で食感を向上させる方法はどのようにした方がよいかという質問でした。またうま味成分の増強について、産地の違いによる食材の使い分けなど私の専門の守備範囲外の質問は、さながら学会の質疑応答の時間のようなものでした。料理人も科学を勉強しており、それを元に技術と自身の芸術性と情熱を反映させて、美味しい料理が提供されることに感服しました。

料理の美味しさと科学について解説された本も増えてきました。「料理と科学のおいしい出会い」

い」は一般の人にもわかりやすく、その秘密が解説されている本の一つです。「食品科学」などの講義を受けた学生にはおなじみのメイラード反応やアミノ酸、糖質が美味しさにどのように関係しているか、かわいらしいイラストと共に知ることができます。

例えば高級なレストランのステーキ肉は、なぜ口の中で溶けるような舌ざわりがあり、ほのかに甘さを感じるのかについて、脂質の構成をもとに解説しています。また炊飯器は様々な価格帯のものが販売されていますが、何が違ってどうして美味しさが違うのかがわかります。料理の温度と味と香りに対する影響についても紹介されています。これを知るとお茶の温度やフルーツの冷やし方の重要性がわかることでしょう。

最新の科学を使った食品加工技術についても紹介されています。ケーキに好きなイラストや写真を鮮明に印刷してくれるサービスがありますが、その技術の延長線上にある食品 3D フードプリンタについてです。だいぶ技術が進んでいて、人工的にステーキ肉を印刷で作れる時代も近づいているそうです。

食に関する情報はインターネット、テレビをはじめとしたメディアから手軽に入手可能です。しかし、その中にはかなり間違っただけのものも多々あります。その点、本の場合は全てとは限りませんが、確かな知識を入手することが可能です。グルメ巡りの際のうんちくに、料理と科学の知識で食欲の秋を楽しんでみては如何でしょうか？

(まえだ はやと)

弘前大学附属図書館で所蔵している関連図書

前多先生より、ご紹介の図書「料理と科学のおいしい出会い」を本館に寄贈していただきました。それ以外にも、分類番号383、498.5、588の辺りにも食品関係の図書があります。

図書館に関する話題 第21回

「カタチのない資料」を使い倒す

附属図書館資料管理グループ主任 須田 久美子

◆新聞記事でタイムトリップ

学生の皆さんは、自分が生まれた頃にどんな出来事があったか、知っていますか？気になった人は附属図書館で導入中の読売新聞記事データベース「ヨミダス歴史館」を利用してみましょう。自分の生年月日を入力して検索ボタンを押すだけ。その日に報道された新聞記事の他、当時の流行・時事が反映された新聞広告や雑誌記事の見出しまで見ることができます。

私の生まれた1979年7月7日の読売新聞はというと、「大都市マンション・地方一戸建て」という見出しが大きくおどりと、建設省（当時）による住宅政策・都市再開発計画を伝える1面。それに呼応するかなのような住宅メーカーの宣伝広告、宅地・中古住宅売買情報のオンパレード！様々な暮らし方の選択肢が増えてきた時代だったのでしょう。じゃあ、母の生まれた日は？消費税が3%で始まったあの時は？と、気が付くと私はパソコンの前で1人タイムトリップしていたりします。

図書館では、古い新聞は縮刷版という保管しやすい冊子で所蔵しているので、書庫へ行って見る事はできます。しかし、こうしたデータベースを使うと、私たちはパソコンの前ですぐに電子化されたお目当ての記事を読む事ができるわけです。

◆姿は見えねど、ここにあり —カタチのない資料—

でもこれは、ほんの一例。最近、図書館に並んでいる雑誌が少なくなったと思いませんか？学生の皆さんはまだあまり縁がないかもしれませんが、これらは買わなくなった訳ではありません。紙の雑誌が電子版に変わってきているのです。また本学や他大学の研究成果として発行される様々な紀要も、各大学で運営している学術機関リポジトリで電子版として公開されています。つまり、先ほどの新聞の例のように、書庫まで冊子体を借りに行かずとも、パソコンやスマートフォンから雑誌記事や先生方の論文を読むことができます。

参考として、本学の雑誌の受入種類数の推移を紹介しましょう。10年前の平成20年は、冊子体の雑誌は24,840種類、電子ジャーナルは2,687種類でした。そして平成30年3月には、これが冊子体24,315種類、電子ジャーナル7,047種類となっています。つまり、みなさんがインターネットで読むことのできる雑誌がこの10年でおよそ2.6倍になっているということです。

◆この便利さ、実感してください。

電子化されることで、私たちはCiNii Articlesなどの文献データベースを使ってキーワードで検索した際に、検索結果から電子版の論文記事そのものへ飛んでいき、すぐに全文を読むことも可能になりました。スマホアプリに話しかけるように、思いつくままキーワードを入れてみてください。同じキーワードで実に様々な時代の記事がたくさん出てくることに気付くはずですよ。そして雑誌や新聞の記事は単行本に比べ分量も少ないので、あっという間に読んでしまうことができるので、その時代、その時代の最新（だった）またはトレンド（だった）情報を、実に効率的に収集することができると言えるでしょう。

わざわざ図書館に行くのは面倒だな～、という方。（そう言わずに来ていただけるとうれしいのですが）まずは電子版の資料の存在を思い出してください。あなたの目の前のパソコンやスマホが図書館の書庫になっているのです。

本文中で紹介した各種データベース

- ヨミダス歴史館(読売新聞記事検索データベース)

※明治からの新聞記事を紙面イメージそのまま検索できます。(同時アクセス1・学内LANから利用)
※学期末のレポート作成期間には同時アクセス数を増やしています。詳しくは図書館Twitterなどで告知しますので、ぜひご利用ください!

- CiNii Articles(文献検索ツール)

※雑誌に掲載された論文等をキーワードで検索できます。「本文あり」の条件を指定すると、電子版で本文がすぐ読めるものだけを効率的に検索できます。

デジタル・アーカイブの紹介

「東遊雑記」について

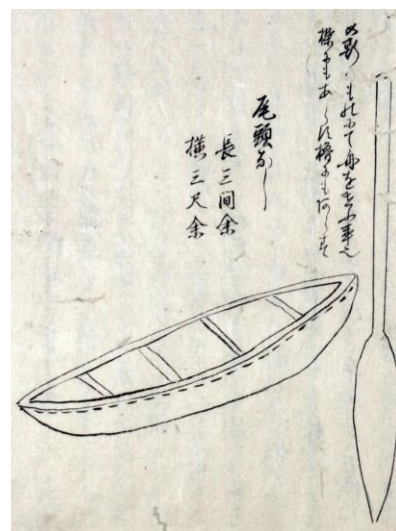
附属図書館医学情報グループ 齋藤 香織

「東遊雑記」とは、江戸時代中期の地理学者、古川古松軒(ふるかわ こしょうけん)が、天明8年(1788)幕府巡見使に随従し、東北地方を經由し北海道まで旅した際の紀行文です。各地の人情風俗や地理について記述し、道具類や風景の絵も挿入されています。姉妹編に、山陽と九州を旅した記録の「西遊雑記」があります。

本学においてデジタルアーカイブ化した「東遊雑記」は、附属図書館ではなく人文社会科学部の所蔵資料です。元の所有者、成田彦栄(なりた ひこえい)氏(1898~1959)は、医業の傍ら、郷土資料の保護・収集に尽力され、郷土史(特に考古学関係)に多くの業績を残しました。2009年に成田氏ご遺族より収集資料の大部分を本学に寄贈していただき、その後成田氏旧蔵書の目録作成の作業中に発見されたのが、この資料です。昭和30年に京都の古書店より購入したものと推測されています。

「東遊雑記」には数多くの写本がありますが、この本は部分的な写本と思われます。奥付には、本来は巻之二と六の2巻だったものを、3巻に装丁し直したとあります。保存状態も良好で、着色の美しい図も忠実に写されています。東北地方出身または在住の方は、見知った地名(鶴岡、横手、石巻、松島等)が数多く出てきて、興味深く読めるのではないのでしょうか。東洋文庫版では「弘前」についての記述がありますが、この写本には入っておらず、その数日前までの記述となっているのが少々残念です。

この本は江戸時代の資料であり、保存・取扱いに注意を要するため、デジタルアーカイブ化して公開することとしました。画像データは巻毎にまとめられ、クリックにより本をめくる感覚で読めるようになっています。本文は手書きの文字ですが、「弘前大学 國史研究」に掲載された翻刻が、本学リポジトリにて無料公開されていますので、あわせてご覧ください。



挿絵

参考資料

- ・「解題」 大藤時彦、「東遊雑記」平凡社（東洋文庫）、p. 283-305
- ・「東遊雑記 上」 上條信彦・市毛幹幸、「弘前大学國史研究」129号、p. 21-41
- ・「東遊雑記 中」 白石睦弥著、「弘前大学國史研究」130号、p. 20-40
- ・「東遊雑記 下」 蔦谷大輔著、「弘前大学國史研究」131号、p. 39-75

Library News

第3回 Book Hunting の開催について

平成30年6月27日（水）、今年度1回目（通算では3回目）のBook Huntingを、紀伊国屋書店弘前支店のご協力の下、開催しました。この企画は、学生の皆さんが直接書店に出向き、2時間の制限時間と1人あたり3万円程度の予算で、附属図書館に置いてもらいたい図書を選ぶというものです。今回は過去最多の9名の方が参加され、内訳は学部学生6名、大学院生3名でした。所属学部・研究科の内訳は、地域1、人文5、教育1、理工2となっております。

過去2回のBook Huntingで選定された図書は、館内に専用のコーナーを設け利用に供していますが、貸出された図書の割合が80%を超えるなど、大変人気があります。学習用の図書だけでなく、最近話題になった本や自己啓発本、実用書などもあり、どことなく親しみやすい感じがあるからでしょうか。

第4回は12月頃を予定しておりますので、多数の参加をお待ちしています。

金額	切	対象	書店	集合	時間	開催
一人三万円まで購入可	六月二十二日（金）	弘前大学学生・先着10名	紀伊国屋書店弘前店	附属図書館正面玄関	午後一時より午後三時	六月二十七日（水）

本狩 三
参加者募集
6月22日
弘前大学附属図書館

本狩(Book Hunting)とは
学生が図書館においてほしい本を
書店に選びに行く企画である。
——図書館担当
(013156)shiroseki-u.ac.jp

学生が本当に欲しい本を自分の手で選ぶということで、大変充実した時間を過ごすことができました。
——第2回参加者

とても楽しかったです!!今後も続けてほしい企画だと嬉しいです!!
——第2回参加者

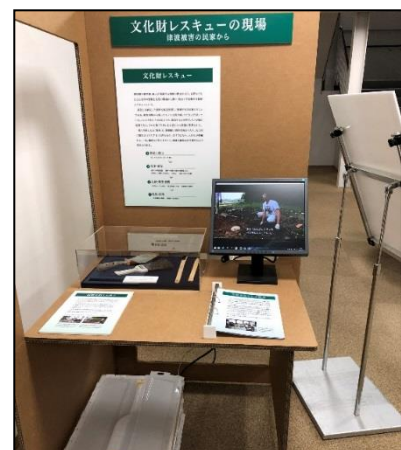
第3回 Book Hunting 参加者募集ポスター

国語研・歴博モバイルミュージアム

人文社会科学部で国立国語研究所及び国立歴史民俗博物館と連携した授業「地域文化振興実習」をするにあたり、附属図書館内のスペースにおいて授業と連動した展示を行いました。この展示に使用されたのが、モバイルミュージアム（簡易移動型展示什器）です。

国立国語研究所の展示は、5月28日～6月15日の約3週間で、「方言の世界」というテーマでした。方言地図にシールを貼っていく参加型のものや、沖縄の首里方言クイズなどの内容でした。

国立歴史民俗博物館の展示は6月25日～7月13日の約3週間で、「文化財レスキューの現場～津波被害の民家から～」というテーマでした。東日本大震災で被災した民家から民俗資料を救出している現場の映像を流し、使っている道具などを展示しました。



国立歴史民俗博物館の展示



国立国語学研究所の展示

本学関係者の著作で、図書館に寄贈された図書と資料の一覧

平成30年4月～平成30年9月分受贈分

学部名	寄贈者名	書名	発行所	数	所蔵先
人文社会科学部	山田 巖子	田子の民俗（弘前大学人文社会科学部民俗学実習調査報告書 6）	弘前大学人文社会科学部民俗学研究室	1	本館 1
	関根 達人	墓石が語る江戸時代：大名・庶民の墓事情	吉川弘文館	1	本館 1
		若狭小浜湊の中近世石造物 （石造物研究に基づく新たな中近世史の構築 3）	科学研究費補助金基盤研究 A 研究成果報告書	1	本館 1
		松前藩福山城下町の考古学的研究：福山城下町遺跡馬形地区正行寺北側地点の発掘調査 1	弘前大学人文社会科学部文化財論研究室	1	本館 1
	上條 信彦	佐藤敏也コレクションの研究 2 （日本の出土米 3）	弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター	1	本館 1
		八郎潟沿岸の亀ヶ岡文化：中山遺跡・高石野遺跡・大沢 I 遺跡出土資料の研究	弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター	1	本館 1
	尾崎名津子	文芸雑誌『若草』：私たちは文芸を愛好している	翰林書房	1	本館 1
	南修平	アメリカン・レイバー：合衆国における労働の文化表象	彩流社	1	本館 1
	森樹男	キャリア形成支援の方法論と実践	東北大学出版会	1	本館 1
	足達薫	クリスタルの心：ルネサンスにおける愛の談論、詩、そして肖像画	ありな書房	1	本館 1
	中村武司	イギリスの歴史を知るための 50 章	明石書店	1	本館 1
	保田宗良	弘前大学における消費者教育の調査・実践報告：弘前大学人文社会科学部消費者教育推進事業	弘前大学人文社会科学部消費者	1	本館 1

		報告書 2017 年度	教育推進事業報告書編集委員会		
教育学部	土屋陽子	路と異界の英語圏文学	大阪教育図書	1	本館 1
医学研究科	大熊洋揮	脳卒中予防ハンドブック : アタリを防ぐ基礎知識	弘前大学出版会	2	分館 2
理工学研究科	上原子晶久	FRP 接着による構造物の補修・補強指針(案)	丸善出版	1	本館 1
農学生命科学部	中村剛之	旧翅類 (日本昆虫目録 第 2 巻)	権歌書房	1	本館 1
生涯学習教育研究センター	深作拓郎	大学生が本気で考える子どもの放課後 : 弘前大学生の地域参加とプレイワーク実践	学文社	1	本館 1
弘前大学 名誉教授	長谷川成一	キリシタン大名 : 布教・政策・信仰の実相	宮帯出版社	1	本館 1
	小原良孝	染色体から見える世界	東海大学出版部	1	本館 1
元教員	JN. Westerhoven	Menselijke voorwaarden、 Junpei Gomikawa	Uitgeverij Van Oorschot	1	本館 1
弘前大学出版会		知能科学・医用科学 : 実験実習テキスト : 平成 30 年度版	弘前大学出版会	1	本館 1
		機械科学 : 実験・実習テキスト : 平成 30 年度版	弘前大学出版会	1	本館 1
		電子情報工学実験 I : 実験の手引き : 平成 30 年度版	弘前大学出版会	1	本館 1
		基礎物理学実験 : 数物科学科用の手引き	弘前大学出版会	1	本館 1
		弘前大学におけるアクティブ・ラーニング	弘前大学出版会	2	本館 1 分館 1
		社会とかかわって学ぶ : 大学生が取り組んだ世代性と市民性のサービス・ラーニング実践 (弘大ブックレット No.13)	弘前大学出版会	1	本館 1
		リサイクル・バイオ燃料が切り拓く新たなビジョン : 使用済み食用油のエネルギー利用	弘前大学出版会	1	本館 1
		人と建物がつむぐ街の記憶 : 山形県鶴岡市を訪ねて (1)	弘前大学出版会	1	本館 1
		脳卒中予防ハンドブック : アタリを防ぐ基礎知識	弘前大学出版会	1	本館 1
		どう見える? 生きる跡 アート	弘前大学出版会	1	本館 1
		機械科学科基礎物理学実験の手引き : 平成 30 年度版	弘前大学出版会	1	本館 1
		電子情報工学実験 II : 2018 年度版	弘前大学出版会	1	本館 1



弘前大学附属図書館報「豊泉」第 48 号 発行日：平成 30 年 1 月 30 日

編集／弘前大学附属図書館広報委員会

発行／弘前大学附属図書館 〒036-8560 青森県弘前市文京町 1

TEL 0172(39)3162 FAX 0172(39)3171 URL <http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>

標題の「豊泉」は、明治 9 年の「仏国学制」付録上巻中の「人智ヲ広ムルノ豊泉アリ」の文に基づき、松原邦明名誉教授命名 題字：藤原楚水編「書道六體大字典」(三省堂)より